

一般財団法人操風会 岡山旭東病院 公的医療機関等2025プラン

岡山旭東病院の基本情報

地域医療支援病院

医療機関名	一般財団法人操風会 岡山旭東病院
所在地	岡山市中区倉田567-1
病床数	許可病床数 202床 (稼働病床数 202床) (病床種別) : 一般 (病床機能別): 高度急性期、急性期 7対1入院基本料172床(内ICU12床) 地域包括ケア病棟(30床)
診療科目	脳神経外科、神経内科、整形外科、リハビリテーション科 内科、循環器科、麻酔科、放射線科、形成外科、リウマチ科
職員数他	職員数 : 478名 医師 : 常勤 30名 (常勤換算35.9名) 看護職員 : 230名 専門職 : 129名 事務職員 : 65名

【1.現状と課題】

① 構想区域の現状

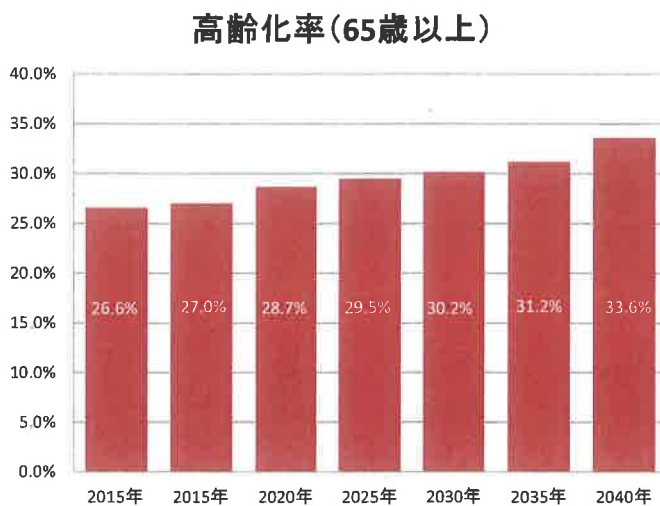
地域の人口及び高齢化の推移

【1.現状と課題】 ① 構想区域の現状（地域の人口及び高齢化の推移）

県南東部圏域における患者動向

国勢調査人口(2015年) 921,940人

高齢化率(65歳以上・2015年) 26.6%



・高齢化率は年々増加傾向

データ元：将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所
(2013年3月推計)

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の人口及び高齢化の推移）

県南東部圏域における患者動向

国勢調査人口(2015年) 921,940人

高齢化率(65歳以上・2015年) 26.6%

将来推計人口(人)



データ元: 将来推計人口
国立社会保障・人口問題研究所
(2013年3月推計)

・人口は減少傾向にあるが、65歳以上人口は2025年をピークを迎える

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の人口及び高齢化の推移）

県南東部圏域における患者動向

国勢調査人口(2015年) 921,940人

高齢化率(65歳以上・2015年) 26.6%



データ元: 将来推計人口
国立社会保障・人口問題研究所
(2013年3月推計)

・人口は減少傾向にあるが、75歳以上人口は2030年をピークを迎える

地域の医療需要の推移

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の医療需要の推移）

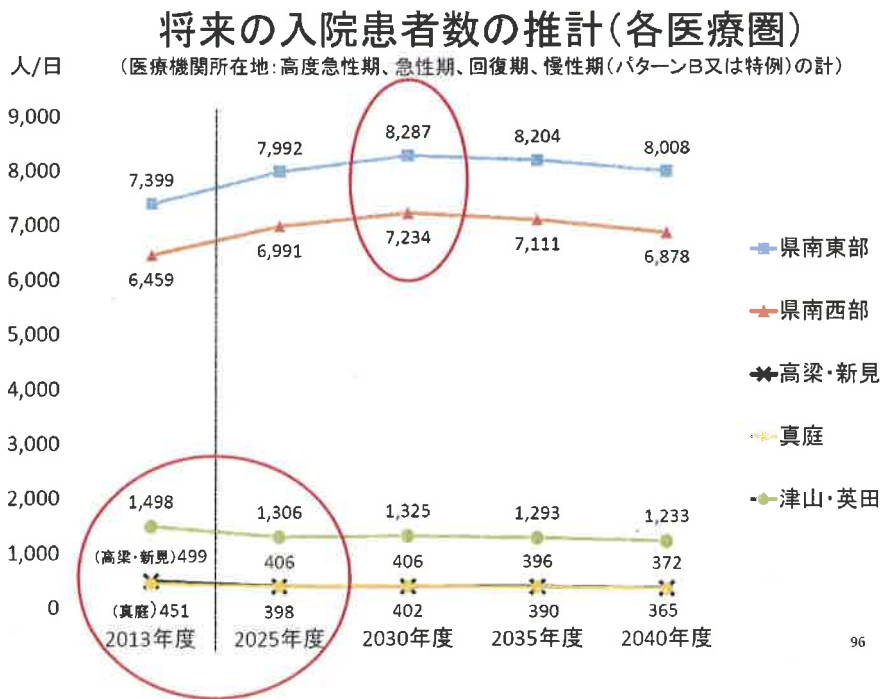
将来の入院患者数の推計(岡山県全体)

(医療機関所在地:高度急性期、急性期、回復期、慢性期(パターンB又は特例)の計)



・入院患者数は75歳以上と同様、2030年をピークを迎える

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の医療需要の推移）

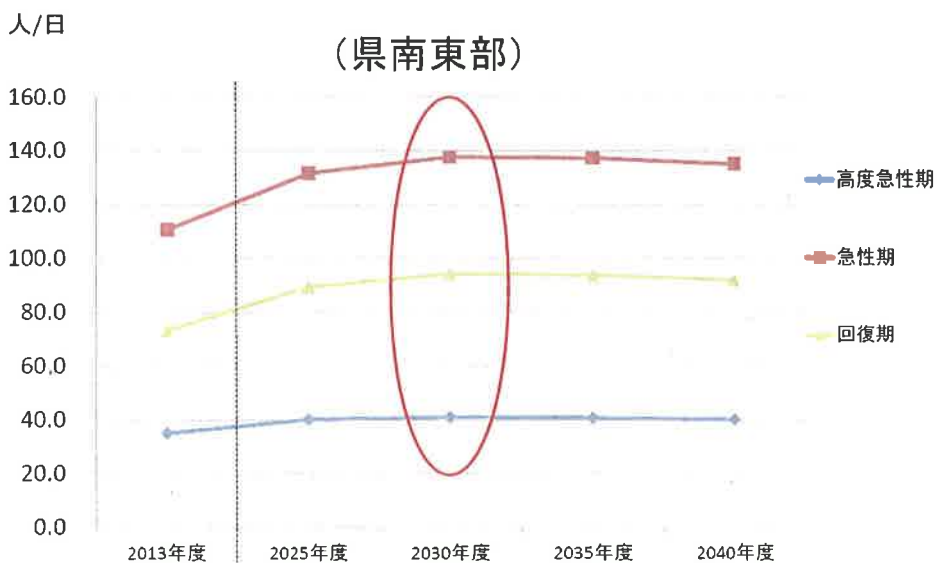


- ・県南東部・西部の入院需要は2030年まで増加、それ以降減少(2040年≒2025年)
- ・他医療圏は、現時点から減少傾向

9

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の医療需要の推移）

脳卒中の入院医療需要推計①

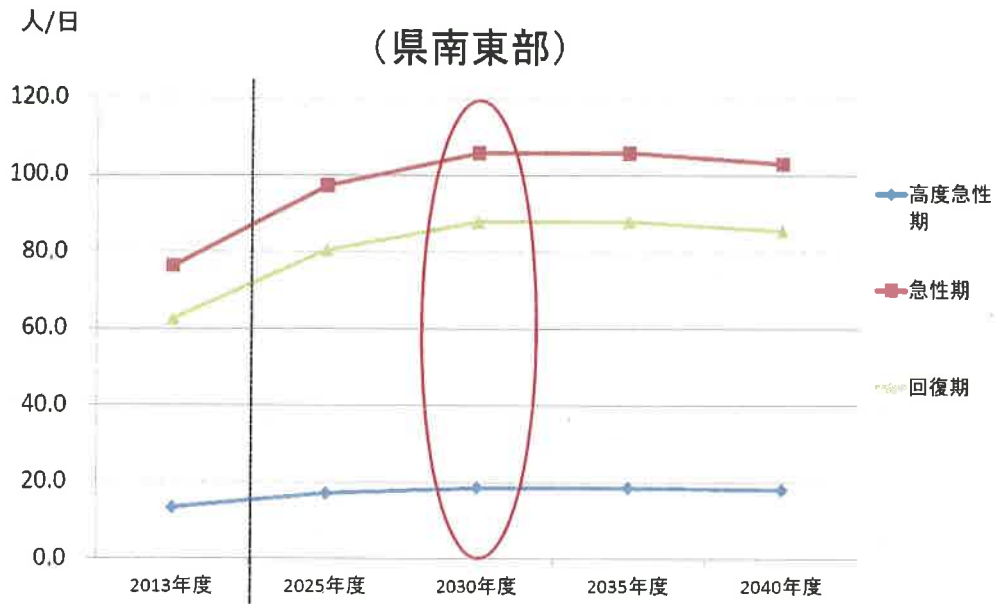


- ・脳卒中は、2030年まで増加し、少しずつ減少(現在よりも需要は大)
- ・75歳以上の人口推移に相関

10

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の医療需要の推移）

大腿骨骨折の入院医療需要推計①



大腿骨骨折は、2030年まで増加し、少しずつ減少（現在よりも需要は大）
75歳以上の人口推移に相関

11

4機能ごとの医療体制の特徴

12

【1.現状と課題】 ② 構想区域の課題（4機能ごとの医療提供体制の特徴）

今後の必要病床数（県南東部：急性期・回復期）

図表5-1-3-1 構想区域別病床数の現況及び推計の比較

（単位：床）

構想区域	区分	平成27年4月1日現在の病床数 〔病床機能報告（調整後）〕			必要病床数 〔地域医療構想策定支援ツールから〕			②-①	②/①
		病院	診療所	合計 ①	H25 (2013)	H37 (2025)	H52 (2040)		
					②	③			
県南東部	高度急性期	2,385		2,385	1,125	1,187	1,146	▲1,198	49.8%
	急性期	4,168	556	4,724	2,968	3,335	3,318	▲1,389	70.6%
	回復期	1,006	123	1,129	2,500	2,927	2,969	▲1,798	259.3%
	慢性期	2,365	290	2,655	2,163	2,029	2,052	▲626	76.4%
	無回答	258	230	488				▲488	
	計	10,182	1,199	11,381	8,756	9,478	9,485	▲1,903	83.3%
県南西部	高度急性期	2,007	17	2,024	863	888	830	▲1,136	43.9%
	急性期	2,839	385	3,224	2,380	2,722	2,644	▲502	84.4%
	回復期	977	100	1,077	2,289	2,761	2,742	▲1,684	256.4%
	慢性期	2,171	133	2,304	2,061	1,866	1,876	▲438	81.0%
	無回答	314	156	470				▲470	
	計	8,308	791	9,099	7,593	8,237	8,092	▲862	90.5%

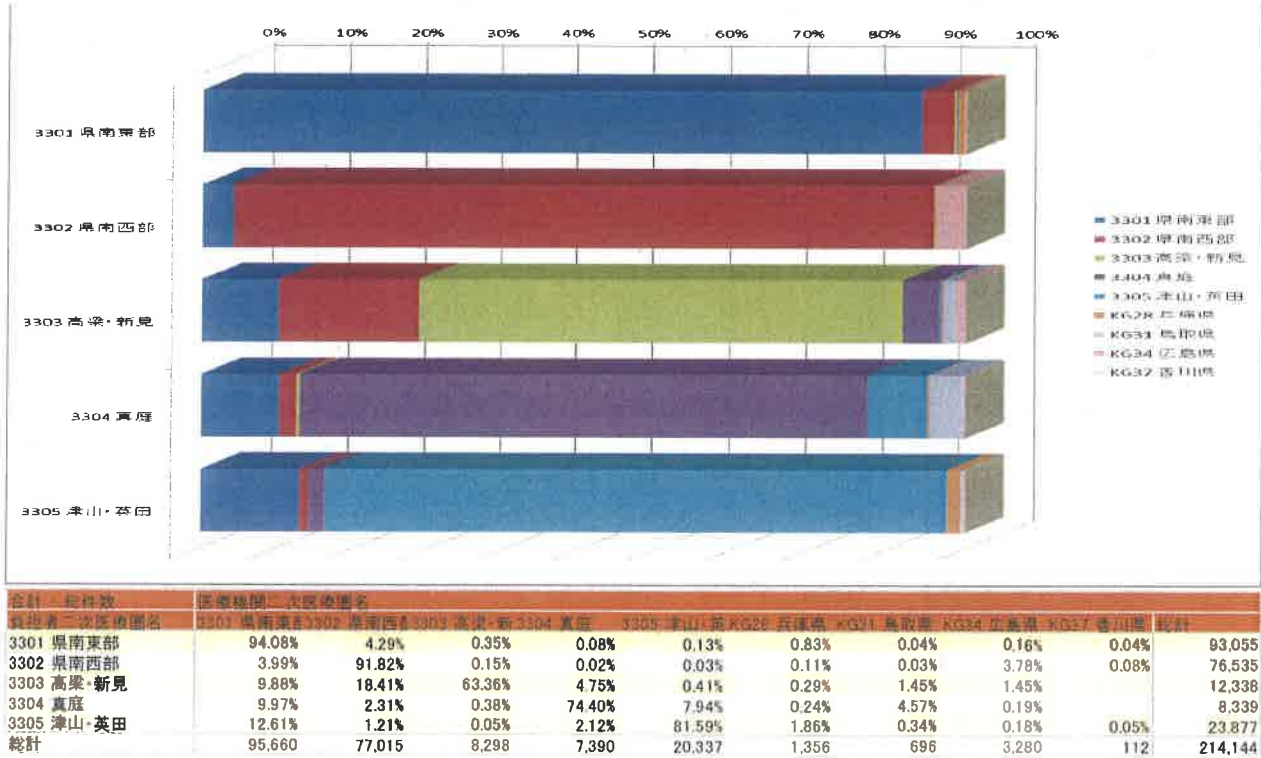
・4機能別では高度急性期、急性期が過剰、回復期が不足

資料：厚生労働省「病院報告」

地域の医療需要の特徴

平成25年度 NDBデータ(流出) 一般入院基本料、全年齢、入院

大分類：基本診療体制
中分類：入院診療体制
指標名：一般入院基本料
年齢区分：全年齢
入外区分：入院



15

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状 地域の医療需要の特徴

平成25年度 NDBデータ(流出) 脳卒中、全年齢、入院

大分類：脳血管障害
中分類：脳卒中
指標名：指定無し
年齢区分：全年齢
入外区分：入院

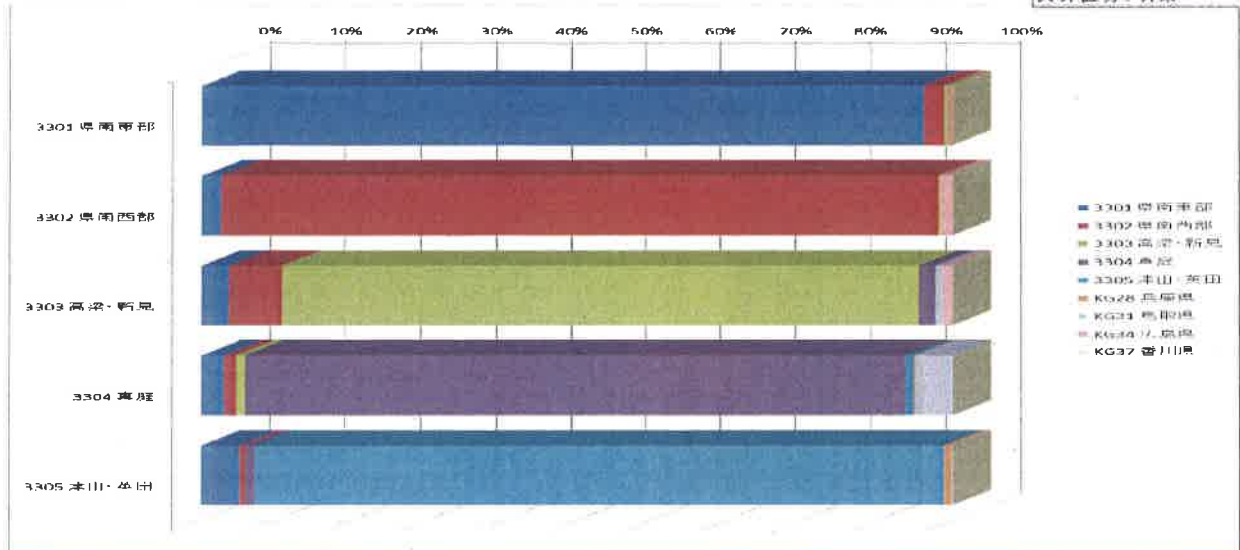


脳卒中：県南東部・西部は、完結率が90%を超えている

16

平成25年度 NDBデータ(流出) 脳卒中、全年齢、外来

大分類：脳血管障害
中分類：脳卒中
指標名：指定無し
年齢区分：全年齢
入外区分：外来

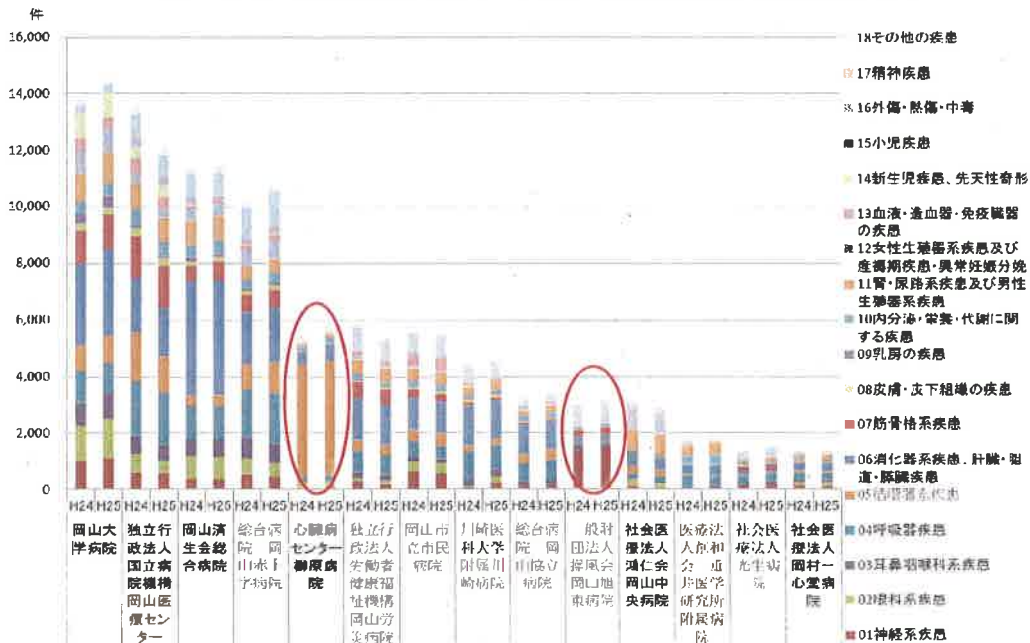


合計・転院先	受療機関二次医療機関名										
負担者二次医療機関名	3301 県南東部	3302 県南西部	3303 高梁・新見	3304 真庭	3305 津山・英田	K628 高梁	K629 高梁	K630 高梁	K631 高梁	K632 高梁	統計
3301 県南東部	98.06%	2.82%	0.45%	0.03%	0.18%	0.36%	0.01%	0.06%	0.03%		495,897
3302 県南西部	2.54%	95.60%	0.16%	0.00%	0.02%	0.04%	0.01%	1.59%	0.05%		415,686
3303 高梁・新見	3.68%	7.12%	84.68%	2.15%	0.13%	0.09%	0.77%	1.38%			61,300
3304 真庭	2.94%	1.69%	1.16%	87.83%	1.16%	0.22%	4.93%	0.07%			35,365
3305 津山・英田	5.12%	0.75%	0.04%	1.13%	91.85%	0.87%	0.20%	0.01%	0.02%		123,456
総計	496,504	417,277	55,244	33,926	114,869	3,173	2,536	7,800	375		1,131,704

17

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の医療需要の特徴）

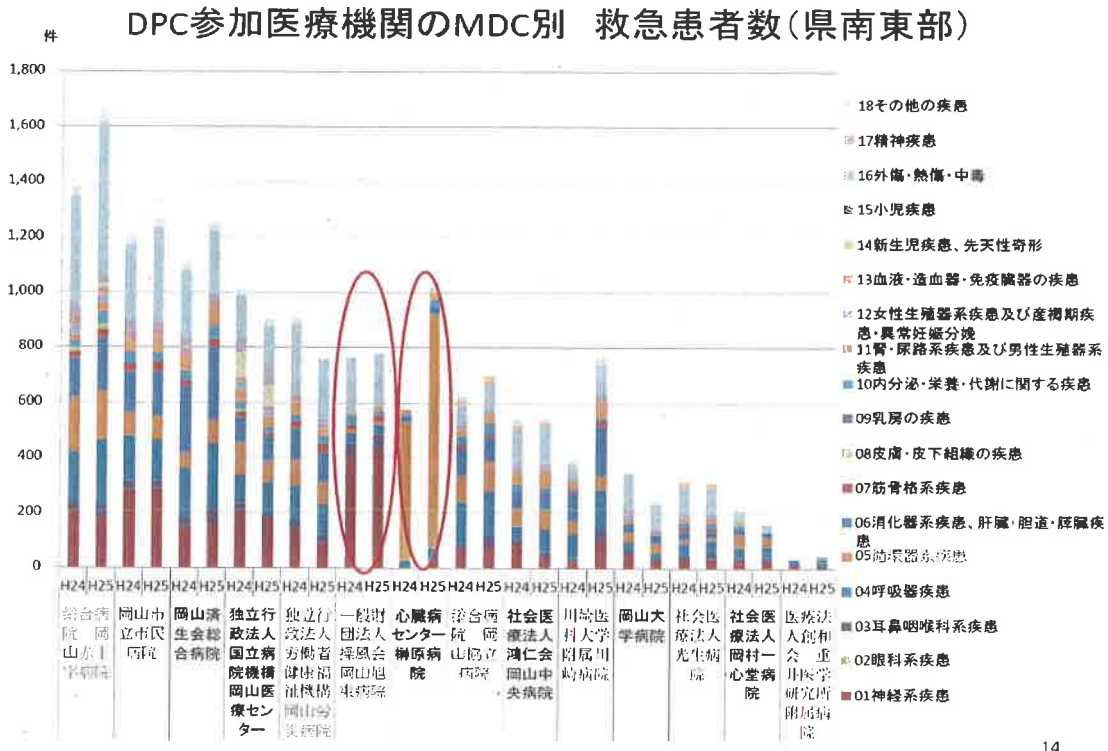
DPC参加医療機関のMDC別 総患者数(県南東部)



・総患者数：循環器系疾患・神経系疾患について機能分化が進んでいる。

18

【1.現状と課題】 ①構想区域の現状（地域の医療需要の特徴）



・救急患者数：循環器系疾患・神経系疾患については機能分化が進んでいる。

【1.現状と課題】 構想区域の現状と課題

○地域の人口及び高齢化の推移

- ・人口は減少傾向にあるが、
- ・65歳人口は2025年がピーク、75歳以上人口は2030年がピークとなる

○地域の医療需要の推移

- ・県南東部医療圏の入院需要は増加し、2030年度までがピークとなる

○4機能ごとの医療提供体制

- ・高度急性期・急性期は過剰、回復期は不足している

○地域の医療需要の特徴

- ・脳卒中及び大腿骨骨折の医療需要は増加し、2030年度がピークとなる
- ・脳卒中について完結率は入院・外来共に90%を超えている
- ・DPC医療機関MCD別 疾患別では、神経系疾患・循環器疾患の機能分化
- ・DPC医療機関MCD別 救急患者数では、神経系疾患・循環器疾患の機能分化

- 県南東部医療圏では、脳卒中(神経系疾患)・大腿骨骨折の医療需要は増加傾向にあり、2030年にピークを迎える。
- 疾患別からみた、医療提供体制の構築が必要

【③【自施設の現状】自施設の理念、基本方針等

経営理念(岡山旭東病院)

- 一. 安心して、生命をゆだねられる病院
- 二. 快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
- 三. 他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
- 四. 職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

21

【③【自施設の現状】自施設の理念、基本方針等

基本方針

- | | |
|----------|-----------|
| ①経営理念の実践 | ②人間尊重の医療 |
| ③情報の公開 | ④共育の実践 |
| ⑤癒しの環境整備 | ⑥地球環境への貢献 |
| ⑦チーム医療 | ⑧個人情報保護 |

22

【③【自施設の現状】自施設の理念、基本方針等

ビジョン

- ①脳・神経・運動器疾患の総合的専門病院
- ②学習型病院
- ③総合画像センター
- ④予防医学（健康センター事業）
- ⑤地域医療支援病院
- ⑥岡山ハッピーライフ操風の運営

23

【③自施設の現状】

・ 診療実績

届出入院基本料等

一般入院基本料7対1:172床(特定集中治療室:12床)、
地域包括ケア病棟入院基本料:30床

平均在院日数	H26年度	13.5日
	H27年度	13.5日
	H28年度	13.1日

病床稼働率		7対1	地域包括
	H26年度	85.3%	
	H27年度	76.3%	83.8%
	H28年度	85.4%	92.4%

24

【④自施設の課題】

・ 脳神経運動器の総合的専門病院

- ①構想区域の現状、②構想区域の課題、③自院の現状から、
- 脳・神経・運動器疾患の医療需要は増加し、2030年にピークを迎える。
 - 2040年の医療需要についても、現在よりも増加が見込まれている。
 - 現状では、MCD疾患別・救急患者ともに、機能分化が進みつつある。



当院の課題としては、脳・神経・運動器疾患の医療体制の充実を図るとともに、地域包括ケアシステムを構築していかなければならない。

25

【2. 今後の方針】

地域医療支援病院

① 地域において今後担うべき役割

地域医療支援病院として、地域包括ケアシステムを構築していくとともに、脳・神経・運動器疾患の総合的専門病院として専門特化した医療を提供する。

- 脳神経運動器疾患、発症後早期の適切な治療とリハビリテーションにより、死亡や後遺症を残す可能性を低減できることから、安心して良質な医療が提供できる体制づくりを目指しています。
- 脳卒中について専門的な診療(t-PA静脈内投与等)が24時間可能な急性期医療機関は、圏域には9施設あります。これらの医療機関と回復期リハビリテーション医療機関等が円滑に医療連携できるようシステムの充実を図っていきます。
- 地域医療支援病院として「もも脳ネット」結成し、圏域内で統一した「もも脳ネット連携パス」を作成しました。医療関係者が主体となって、パスの運用や連携の在り方等について定期的に検討会を活用し地域連携を推進のさらなる充実を図っていきます。
- 早期の治療を開始するために、県民に対する脳神経運動器疾患の理解と対応を啓発するとともに、県南東部圏域救急医療体制推進協議会や県南東部メディカルコントロール協議会と連携し、より充実した迅速な脳卒中患者搬送体制の整備を進めていきます。

26

【2. 今後の方針】

地域医療支援病院

② 今後持つべき病床機能

今後の医療需要を基に、現在の急性期病床を維持する必要がある。

回復期機能については、回復期リハビリテーション病院等との関係を密にし、連携を図る。

③ その他見直す点

地域包括ケアシステムを構築し、地域の医療機関・施設と共に良い医療・療養を提供するため、在宅後方支援病院としての充実、サービス付き高齢者住宅を中心とした介護サービスの充実に努める。

27

【3. 具体的な計画】

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	(ICU 12)	→	(ICU 12)
急性期	7対1 172 地域包括 30		7対1 172 地域包括 30
回復期			
慢性期			
(合計)	202床		202床

- ・将来の医療体制について検討し、2015年に一般病床から、地域包括ケア病棟に30床へ転換した。
- ・2025年に向け、地域包括ケアシステムを踏まえ、其々の機能を充実させていく。

28

【3.具体的な計画】

①4機能ごとの病床のあり方について

<年次スケジュール>

	取り組み内容	到達目標
2017年度	○合意に向けた協議	○自施設の今後の病床の在り方を決定 ・脳神経運動器疾患の総合的専門病院としての医療機能方向性
2018年度	○地域医療構想調整会議における合意形成に向け検討	○地域医療構想調整会議において自施設の病床の在り方に関する合意を得る ・医療圏の医療需要は増加するが、病床を増加させるのではなく、医療提供体制計画を踏まえ、平均在院日数の短縮等の効率化を図り維持
2019～2020年度	○具体的な病床整備計画を策定	○2019年度中に計画策定 ・地域包括ケアシステムの中での地域医療支援病院
2021～2023年度		○2023年度末までに実行

【3.具体的な計画】

地域医療支援病院

③その他の数値目標について

医療提供に関する項目

病床稼働率 : 90%
 地域医療支援病院 紹介率 : 55%
 地域医療支援病院 逆紹介率 : 90%

経営に関する項目

人件費率 : 47.5%
 労働分配率 : 69.9%
 医業収益に占める人材育成にかかる費用(職員研修費等)の割合 : 0.45%